

※注意：このシートは横浜市の
ホームページ等で公開されます。

No. 120

まちづくり支援団体登録シート（閲覧用）①

フリガナ	コウエキシャダンホウジン ニホンギジュツシカイ カナガワケンシブ		
団体名	公益社団法人 日本技術士会 神奈川県支部		
代表者氏名	清水 進		
連絡先住所	〒231-0023 横浜市中区山下町1番地 シルクセンターM209号室 Tel 045-210-0337 Fax 045-210-0338		
支援分野（注1）		支援分野の内容	
ルール又は プランづくり等	○	建築協定 地区計画 <u>地域まちづくりルール</u> <u>地域まちづくりプラン</u> 景観協定 景観計画 まち普請事業 その他（ ）	
市街地開発事業等	○	再開発 <u>区画整理</u>	
防災まちづくり等	○	まちの不燃化推進事業 共同建替え 防災マップづくり <u>耐震改修</u> <u>狭あい道路整備</u> <u>防災広場整備</u>	
その他	○	商店街活性化 水・緑 歴史 文化 アート 地域交通 福祉 <u>教育防災</u> 防災 防犯 その他（ ）	

※得意とする支援の内容を丸印で囲んでください（複数回答可）。該当するものが無い場合は、
その他の欄に記入してください。

支援分野に関する支援の実績等	支援分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等
	教育防災	全般	平成23年2月～平成29年2月 (毎年継続)	※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 毎年2月に開催される「震災対策技術展」にて 1. 地域防災、防災教育等の防災講演会の開催 H29 演題「実践的な防災・減災への取り組み」 2. 出展ブースでの広報活動 ・「横浜市まちづくり支援制度」パンフレット配布 ・まちづくり支援制度の説明および防災無料相談会開催
	景観計画ルールづくり	東京都葛飾区	平成5年～平成6年	葛飾区景観整備ガイドライン策定 下町の工場が移転し、跡地がマンション化して景観が崩れていく。「柴又の寅さんのふるさと」のイメージを残しつつ、葛飾区全体の景観整備のルールづくりを行い計画書にまとめた。
	「住みよいまちづくり」提案活動	横浜市青葉区若草台15～22	昭和58年	・地域住民に対するアンケート票作成、集計 ・地域の要望書にまとめ、「住みよい町づくり」のイメージを明確にし、展開を図った。

※注意：このシートは横浜市の
ホームページ等で公開されます。

まちづくり支援団体登録シート（閲覧用）②

支援分野に関する支援の実績等	建築協定準備委員会	横浜市青葉区 若草台 15～ 22	昭和 58 年	地域住民に対するアンケート票作成、集計 ・「建築協定（案）」作成 ・「共同住宅・マンション」等に関する維持管理、 環境保全協定書作成等により、地域住民と施主 の協定を実現。
	地域環境保全・ 安全・衛生活動	横浜市青葉区 若草台地区	昭和 58 年	地域住民に対するアンケート票作成、集計 ・マンション、駐車場等に関する、保全・安全に 関する要望書作成。 ・ごみ置き場に関する安全・衛生対策案等を作成 し、住みよい町づくりを実現。
	区画整理事業の 立ち上げに関する 支援	横浜市青葉区 恩田地区	昭和 41 年～ 昭和 61 年 3 月	良好なニュータウン実現のため「住民参加によ るまちづくり」として、組合設立準備委員会より 区画整理事業活動および支援を行い、安全で住み よいまちづくりを実現。
	狭隘道路整備	横浜市金沢区 釜利谷地区	昭和 62 年 3 月	京浜急行電鉄釜利谷住宅地開発の実施設計にあ たり、駅と住宅予定地間の道路沿道住民に対し、 発注者と共に計画を説明、協議し、道路の狭隘部 の整備を市と協議し、認可を受けて整備につなげ た。かつ、新設道路と既設改修道路との一体化が 防災対策上問題無いことを沿道に説明し理解を得 る支援を行った。

まちづくりに関する PR

気候変動などにより、自然災害が多発する可能性が高まっています。今後、防災対応型のまちづくりが益々大切な社会的条件と考えます。まちづくり、インフラ建設等に携わってきた技術者を始め、多くの分野で活躍している技術者が協力して知恵を絞り、的確な技術及び手法等の提案を行います。また、防災まちづくりの専門家による講演会開催や防災教育を、今後も継続していきます。これらの活動を通じて、日本技術士会の目的の一つである「社会貢献」を実践していきます。